

## 聖霊降臨後第2主日特禱（特定4B）

すべて寄り頼む者の守り主である神よ、あなたに寄らなければ強くまた清い者はありません。どうかみ恵みを増し加え、主の導きに従って、この世のものに心を奪われず、常に永遠の賜物を失うことがないようにしてください。天の父よ、この願いを主イエス・キリストのいさおによってお聞き入れください。 **アーメン**

## 旧約聖書 申命記 5章6—21節

5:6 『私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隸の家から導き出した者である。7 あなたには、私をおいてほかに神々があってはならない。8 あなたは自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。9 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、10 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。11 あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかない。12 安息日を守ってこれを聖別し、あなたの神、主があなたに命じられたとおりに行いなさい。13 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。14 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、息子も娘も、男女の奴隸も、牛やろばなどのすべての家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様である。そうすれば、男女の奴隸も、あなたと同じように休息できる。15 あなたはエジプトの地で奴隸であったが、あなたの神、主が、力強い手と伸ばした腕で、あなたをそこから導き出したことを思い出しなさい。そのため、あなたの神、主は、安息日を守るようあなたに命じられたのである。16 あなたの神、主が命じられたとおりに、あなたの父と母を敬いなさい。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてく

ださった土地で長く生き、幸せになることができる。17 殺してはならない。18 姦淫してはならない。19 盗んではならない。20 隣人について偽りの証言をしてはならない。21 隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切貪ってはならない。』

## 詩 編 第81篇1—11節

- 1 力の神に喜び歌え // ヤコブの神に高らかに叫べ
- 2 鼓に合わせて高らかに歌い // 琴を奏で、豎琴をかき鳴らせ
- 3 祭りの日、新月と満月の日に // 角笛を吹き鳴らせ
- 4 これはイスラエルのおきて // ヤコブの神の定め
- 5 エジプトからの救いの記念に // 神がヨセフのために立てられた証
- 6 わたしは知らない言葉を聞いた // 「わたしはお前の肩から重荷を除き、手から荷物を取り去った
- 7 労苦の中から呼び求めたお前をわたしは助け出した // わたしは雷鳴の中から答え、メリバの泉でお前を試みた
- 8 民よ、聞け、わたしはお前に警告する // イスラエルよ、わたしに聞けばよいのだが
- 9 お前にほかの神があってはならない // 異国の神を拝んではならない
- 10 わたしはお前をエジプトから導き出した神である主 // 口を広く開けよ、わたしはそれを豊かに満たそう

## 使徒書 コリントの信徒への手紙二 4章5—12節

4:5 私たちは、自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えていきます。私たち自身は、イエスのためにあなたがたに仕える僕なのです。6 な

ぜなら、「闇から光が照り出でよ」と言われた神は、私たちの心の中を照らし、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を悟る光を与えてくださったからです。7 私たちは、この宝を土の器に納めています。計り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかになるためです。8 私たちは、四方から苦難を受けても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、9 迫害されても見捨てられず、倒されても滅びません。10 私たちは、死にゆくイエスをいつもこの身に負っています。イエスの命がこの身に現れるためです。11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。イエスの命が私たちの死ぬべき肉体に現れるためです。12 こうして、私たちの内には死が働き、あなたがたの内には命が働くのです。

### **福音書 マルコによる福音書 2章23-28節**

2:23 ある安息日に、イエスが麦畑を歩いて行かれると、弟子たちは歩きながら麦の穂を摘み始めた。24 ファリサイ派の人々がイエスに、「御覧なさい。なぜ、彼らは安息日にしてはならないことをするのか」と言った。25 イエスは言われた。「ダビデが、自分も供の者たちも、食べ物がなくて空腹だったときに何をしたか、一度も読んだことがないのか。26 エブヤタルが大祭司であったとき、ダビデは神の家に入り、祭司たちのほかには食べてはならない供えのパンを食べ、一緒にいた者たちにも与えたではないか。」27 また、彼らに言われた。「安息日は人のためであるのであって、人が安息日のためにあるのではない。28 だから、人の子は安息日の主でもある。」